

特別委員会

バイオマス産業都市 調査特別委員会

10月14日開催

〔説明〕二酸化炭素分離回収事業について、二酸化炭素の供給量は大分伸びてきているが、使用量が単位時間当たりの生産を超えることがあり、供給タンクのガス圧が低下する事例が数件発生した。現在は対応できているが、今後、新たな企業進出などにより需要量がさらに増加した場合、現在のタンク容量では賄えなくなる可能性もある。

昨年度に二酸化炭素を利用した新たな事業モデル調査を行ったが、二酸化炭素を液化し、さらにドライアイスを製造し、その販売を収益のメインとする総合的な液化炭酸事業が事業性の上で最も可能性が高いという調査結果が得られた。液化炭酸事業は、市が民間事業者に気体の二酸化炭素を販売し、民間事業者が液化や

ドライアイス化を行い、それを販売することを想定しているが、関係法令による規制があるため、構造改革特区を検討するなど新たな取り組みも必要になる。今後は事業主体となる企業との協議を急ぎ、協定等を締結しながら事業展開に向けた関係省庁協議などの取り組みを強化させ、併せて構造改革特区についても省庁協議を進める必要がある。

〔質問〕アルビータ社が清掃工場の北側の21ヘクタールの事業用地に事業を展開した場合、二酸化炭素の使用量はどれほど見込まれるのか。

〔答弁〕アルビータ社は独自の二酸化炭素の施用方法を開発しており、現在の2ヘクタールの事業用地における使用量は、日量で当初の見込みの10分の1の約0.1トンである。このため、21ヘクタールの事業用地に事業を展開された場合でも当初の見込みの10分の1であれば、1トンに満たないのではないかと考えられるが、実際の使用量は不透明である。

〔質問〕民間企業が液化炭酸事業を行う場合、採算に合うためにはどれくらい二酸化炭素を必要とするのか。

〔答弁〕2トンから3トンのドライアイスを製造できれば採算に合うという調査結果が出ている。液化、固形化をする際にロスが生じるため、3トンのドライアイスを製造するためには、気体の二酸化炭素は約6トン必要となる。

〔質問〕現在、JAなどに供給している分を考慮すると、もっと二酸化炭素を回収するなどの新たな投資をしなければ、液化炭酸事業はできないのではないのか。

〔答弁〕二酸化炭素の回収量を増やすかどうかについては今後の課題としてあるかもしれないが、現状では増やすことは考えられない。企業からはもっと大規模にできないかなどの提案をいただいているが、まずは日量10トンの二酸化炭素をきちんと活用していくことを考えている。

脱炭素社会を目指すためには、二酸化炭素をどのように活用するかの検討は必要であるが、アミン吸収液による二酸化炭素の回収方法以外にもいろんな研究がなされているため、二酸化炭素を減らすためにはいろんなところで民間の力を借りながら考えていく必要がある。

委員会も傍聴できます！

傍聴の際は、市役所（本庁）北棟2階議会事務局で受付をします。受付後に会議室にご案内します。会議の予定は議会ホームページの「議会の予定」で確認できます。



佐賀市議会



佐賀駅周辺整備調査 特別委員会

11月4、5日開催

〔先進地視察〕 マツダスタジアムへのアクセス整備（広島県広島市）及び大手前通り再整備事業（兵庫県姫路市）について先進地視察を実施。



広島県広島市視察の様子



兵庫県姫路市視察の様子

11月16日開催

〔説明〕 旧西友駐車場敷地については、

民間開発誘導等支援業務委託の業者選定のため、公募型プロポーザルを実施した。年内には業者と調整を行い、できる限り早い時期から事業者等へのヒアリングを始めた。

市道三溝線の整備については、当初、北側から順次工事を行うことを予定していたが、アパホテル北側の電線の地中化を行うこととしたため、まずは、地中化が終わっている南側から工事を行うこととし、JR佐賀駅側から順次、歩道拡幅工事を行っている。

佐賀駅前広場の整備については、交差点の改良を含む北口広場整備工事について、来年3月末までの工期を予定している。また、タクシー乗り場などの屋根の設置工事、北口広場植栽工事について、公募型プロポーザルを実施した。

その他関連事項として、県道佐賀停車場線の道路空間について、令和元年度に開催した有識者会議や市民参加型のワークショップ等で、南口の駅前広場から駅前まちかど広場までの道路空間を一体のものとして考えていく必要があるとの意見が数多く出されたため、県と市で道路空間の在り方について協議を始めた。駅北側の市道三溝線は、歩きやすくなる、歩きたくなる道を目指していることから、駅南側についても同じ方向性での空間づくりを行いたい。

〔質問〕 北口広場、南口広場にそれぞれ1台分障がい者用駐車場を設置することのことだが、台数を増やすなどの検討の余地はないのか。

地はないのか。

〔答弁〕 駅前広場には十分な駐車場のスペースが確保できないため、短時間の駐車を対象とする駐車場にしたい。その中で、県の条例に基づき、それぞれに障がい者用駐車場1台分を整備する計画である。

〔質問〕 佐賀駅南口暫定駐車場に設置された障がい者用駐車場も県の条例に基づく台数と考えていいのか。

〔答弁〕 駐車場の運営を開始した後、全体の駐車台数を増やすなどを行っているため、確認させてほしい。

12月8日開催

〔説明〕 佐賀駅南口暫定駐車場には、佐賀県ユニバーサルデザイン施設整備基準に基づき、当初、障がい者用駐車場を5台分設置したが、その後、段階的に駐車可能台数が増え、障がい者用駐車場が1台分不足することが判明した。そのため、実際に現場を確認し、既存の5台分とは別に、2台分の障がい者用駐車場を新たに設置した。

〔質問〕 利用者の利便性を考えれば、今回増設した場所に、既存の分もまとめて設置したほうがいいのではないか。

〔答弁〕 当初から設置していた5台分の場所が特に使い勝手が悪いとは思っていない。既存の場所に1台分増設することも検討したが、増設するスペースがとりにくいこともあったため、最も適した場所を選定し、増設した。あくまで暫定駐車場であり、現状のままで運用したい。



佐賀市議会 3月定例会のお知らせ



3月1日（月）午前10時開会（予定）

※日程等については、定例会開会日に正式決定し、ホームページでもお知らせします。

※市内外のどなたでも傍聴することができます。また、車椅子でも傍聴できますし、文字情報モニターや補聴器の準備もしています。

※委員会の傍聴もできますので、ぜひおいでください。

